

ほけんだより3月

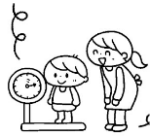


令和6年3月1日
大津市立膳所保育園

まだまだ寒い日が続きますが、春は少しずつ近づいてきているようです。今年度も残すところあと1か月となりました。心もからだも大きく成長した子どもたちの姿から1年間の大きさを感じますね。まだまだ気温の変化が大きい時期です。体調には十分に注意して、元気に過ごしましょう。

ほけん行事

- 4日(月) ひまわり組
- 5日(火) たんぽぽ、あやめ組
- 6日(水) れんげ、ゆり組



今年度の計測も最後になりました。
お子さんと一緒に1年間の成長を振り返ってみてくださいね。



予防接種はお済みですか？

定期接種がまだの方は、体調が良い時に早めに接種しましょう。
接種時期が過ぎると、有料になる場合がありますので注意しましょう。

「命」についてのお話をしました

あやめ組には絵本『おへそのあな』、ひまわり組には『赤ちゃんが生まれる』を読みました。絵本と一緒に“お腹の中で赤ちゃんが育っていく様子がわかるエプロンシアター”も見ました。あやめ組の子どもたちは「おへそはお母さんから栄養をもらうんやで」と答えたり、自分のおへそを見たりする姿がみられました。ひまわり組の子どもたちは、お母さんのお腹の中で赤ちゃんが成長していく写真を見て、とても真剣な眼差しで興味深く話を聞いていました。

話の後に園にある実物大の赤ちゃんの人形を、一人ひとり抱っこしました。「うわー、重たい」「首がぐらぐらや」と大事そうに抱え、驚きと喜びの表情が見られました。命の話を聞いて、自分の体を大切にすることや、友達のことも大切にしようとする気持ちを持って欲しいと願っています。



耳には音を聞く、体の回転や傾きを感じてバランスをとるなど、大切な役割があります。

子どもがかかりやすい耳の病気について

急性中耳炎：耳の痛み、耳だれが出る、発熱
(痛み等を気にして) 耳をよく触る

…中耳に入り込んだ細菌やウイルスによって急性の炎症が起こり、膿が溜まる病気です。のど・鼻・耳は繋がっているため、風邪をひいたときに続いて中耳炎を起こすことが多いです。



子どもは鼻と耳をつなぐ管が短いため、感染症をきっかけに中耳炎を発症することが多いです。

滲出性中耳炎：きこえが悪い(音や声に気づかない)
痛みや発熱はあまり見られない

…鼓膜の奥に炎症によって出てきた液体が溜まる病気です。耳の聞こえに異変があるようなら、早めに耳鼻科を受診しましょう。

中耳炎は症状をそのままにしていると悪化することがありますので、早めの受診をお勧めします。
また、かぜの早期治療やこまめに鼻をかむことも中耳炎の予防につながります。

一年を振り返って



今年度は昨年度と比べて発熱や嘔吐などで、保健室に来室する子どもが多くみられました。更に季節関係なくアデノウイルス感染症や、インフルエンザなどの流行がみられ、様々な感染症が猛威を振るいました。新型コロナウイルス感染症が5類となり、日常生活が行動緩和されたことも原因の一つと考えられます。今後も私たち一人ひとりが、手洗いなどの基本的感染症対策をしっかり行い、子どもたちの健康を守っていききたいですね。

